

# 安全安心のまちづくり

## ◇公立小野町地方総合病院について

### ▼町長説明概要

公立小野町地方総合病院は、小野町、田村市、平田村、いわき市、川内村の5市町村組合立の病院です。診療報酬の引き下げや、都市の病院への集中、医師の不足等により徐々に赤字体質となっており、医師の確保についても困難となっています。

これらの状況をふまえて、外部の専門家を交えて病院改革委員会を設置し病院の改革にあたりました。答申では、病床数削減、職員数削減、諸材料費削減、公設民営などの意見が出されましたが、入院患者数、職員の処遇などもあり、早急な削減は困難で、病院機能を低下させないよう医師確保を図りたいと考えます。また、病院内部に改革実行本部を組織し、院長を筆頭に改革を進めながら診療をおこなっています。現体制では夜間診療と休日診療は困難であり休止しています。

平成18年度末の病院の累積欠損は減価償却分も含み7億9千万円で、国からの交付金等を受け運営しています。

公立小野町地方総合病院は、小野町にとってなくてはならない病院です。医師を確保し、

安定運営に向けて努力します。

### Q 夜間休日診療と小野町独自の当番医制度

A 現在の医師数では困難です。総合病院でも相談については休日対応をしていますが、医師ではないため難しいようです。救急病院がないのは大きな不安となります。小野町の当番医制度は可能かどうか民間医療機関と協議をしてみたいと思います。

### Q 医師不足の原因は？

A 研修医制度が変わったのが最大の原因です。勤務条件の厳しい勤務医は敬遠されるようです。

### Q 病院の経営方針は？

A 理想は公設公営ですが、医師が確保できなければ公設民営も考える必要があります。しかし、公設民営であっても赤字補填は必要となるほか、医師が確保できない場合や、受託者が途中で撤退することもあると考えられます。病院を残すためには、どのような体制にする経費がかかることをご理解ください。

### Q 介護関係事業への取り組みは？

A 病院の療養型については、国は縮小させていく考えです。入院は長期化すると医療報酬が引き下げられ、民間病院ではそのような患者は敬遠されるようです。そのような方々

を総合病院が受け入れていく実情もあります。

### Q 患者への対応

A 病院職員の対応について、多くの指摘があります。病院と患者の信頼関係は大変重要です。内容を病院に伝えて改善を要請します。



公立小野町地方総合病院

## ◇小野警察署について

### ▼町長説明概要

警察署は安全安心の要であり無くすことはできません。町と区長会と一緒に存続運動を進めています。県では警察署の配置について検討を始めたところであり、今すぐ統合するとしたわけでありませんが、今後とも存続について陳情していきたいと考えます。



小野警察署存続の署名簿提出

## ◇公共下水道について

### ▼町長説明概要

日本全国で環境を守ろうという状況の中、小野町でも公共下水道について検討しています。会津坂下町では土壌浄化法という方式を取り入れています。この方法では、浄化槽を土で覆うので、においもしないし維持費もかなり抑えられるようです。この方法が使えないかどうか検討しています。具体的な方針を決めて町民のみなさんに相談します。

## ◇一般廃棄物処分場について

### ▼町長説明概要

一般廃棄物最終処分場については、当初計画より8万m<sup>3</sup>多く搬入することになりました。搬入量総枠の10%未満の変更は軽微な変更ということで、県社では県に届け出をし、県はこれを認められた形となります。最終処分場の設置にあたっては、いわき市と小野町設置会社の3者協定を締結しており、今回の変更については、会社側では小野町にのみ説明して届け出をしたため、いわき市からは軽微な変更でも必ず3者協議を行うよう申し入れがあったものです。会社では、かさ上げを希望していますが、許認可の権限をもつ県は、かさ上げを認めない方針であり、町としても、住民の皆様の思いや、いわき市との協定の内容を踏まえるとかかさ上げをする状況にはないと考えています。

### Q 処分場に関する町の收支は？

A 収入は、最初の10年間で約10億円の歳入がありました。その後の5年間は、毎年5千万円で合計2億5千万円の歳入です。支出は、ダイオキシンなどの検査料、監視員の人員費などで年間約5百万円程度です。

(次頁へ続く)